

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は1人暮らしの方が亡くなったという、遠縁からの依頼が多い。また、ペットの火葬の依頼も多い。ペットも家族の一員なので、今後はこういう流れになってくる。
	○	商店街（代表者）	来客数の動き	・観光客を中心に、1月の能登半島地震の影響からの回復が思いの外、早い。コロナ禍で抑えられていた旅へ出たいという気持ちが強いとみている。
	○	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・リニューアルオープン後に新規の客が増えている。アプリの新規会員増加の影響もある。
	○	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・客が不要な商品を購入する機会が多くなった。デザート、お菓子等、必需品でない物の動きが良く、前年比104%程度となっている。所得が増えたことや水道光熱費等、家計に関わる費用が減ったとみている。
	○	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車販売イベント時の来場客が増えており、供給制約の緩和もあって販売台数は増加している。
	○	その他専門店 〔酒〕（店長）	販売量の動き	・景気自体は持ち直してきている。物価も上がって安定しており、飲食店、ホテル、宿泊関係等の客の動きは、多少順調に入っている。
	○	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・フリー客は少ないものの、宴会、食事会、接待等の予約は堅調である。
	○	タクシー運転手	販売量の動き	・売上は前年比で今月も110%くらいになりそうだが、新型コロナウイルス感染症発生前と比べると、まだ9割程度である。前年よりは1割良いため、やや良くなっている。
	○	観光名所（職員）	来客数の動き	・バスの稼働が増えてきている。また、飲食店等に外国人観光客が戻ってきている。
	○	その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（経営者）	来客数の動き	・週末はファミリー層を中心に集客が増えている。降雪の影響で営業できなかった日もあったが、トータルで見ると新型コロナウイルス感染症発生前に迫るくらいに回復している。
	○	設計事務所（職員）	来客数の動き	・物件数は多く、1人当たりの担当件数が多くなっている。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・世間に流れる経済ニュースでは上向いていると報じられているが、商店街の人は相変わらずゼロである。天候不順が原因なら仕方ないが、客はよほど必要な物以外は買う気がない。
	□	商店街（代表者）	販売量の動き	・今年の冬も比較的寒いため、客は外での運動を控えている。株価が良くても、スポーツ関係の商売には直接響いてこないなので、穏やかな1～2月である。
	□	百貨店（経理担当）	それ以外	・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、年末の11～12月は回復傾向にあったが、元旦の能登半島地震で当県も被災し、1月の消費マインドが低下した。2月はバレンタイン商戦を含め、前年のペースまで回復している。今後は地震の影響が弱まり、消費マインドが回復することを期待している。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・うるう年の1日分は大きい。天候も降雪が少なく来客数は安定している。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・売上は前年比18%増加、来客数は12%減少となっている。前年1月15日から2月15日までは、ばたっと仕事の注文がなくなり、非常に困っていたが、今年は定期的に仕事が入っている。今週末の3つ重なるイベントにも、100%の力で臨みたい。来客数は減ってはいるものの、外販が好調である。忙しい現状のまま、推移してほしい。
□	スーパー（店長）	販売量の動き	・買上点数の前年割れが続いており、徳用サイズ等の購入に流れている。	
□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・段々と暖かくなり、来客数は増えてきている。ただし、寒い日や暖かい日が続かず、ムラがあるため売上の的には厳しい。	

□	コンビニ（店長）	お客様の様子	・気温によって客の購入が変動する商材があるが、最近暖かいときに出る商材が出なかったり、寒いときに出る商材が出なかったり、天候どおりにいなくなっている。逆の動きもあり、客が何に反応して購入するのかが読みづらくなっている。売上自体は余り変わっていない。	
□	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・客足がまるで伸びてこない。	
□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・年々、来客数が減少し、売上が下がっている状況は変わらない。	
□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は目標をクリアできているが、車両販売に関しては、客と相場価格にギャップがあり、話が進まない状況にある。	
□	自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・物価上昇に伴って、客単価は上がっているものの、来客数は伸びておらず、景気は変わらない。	
□	一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・天候不順の影響で、例年よりも来客数が少ない。	
□	スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きを選んだが、全ての選択肢が当てはまる気がする。ともかく大変な年である。都会は徐々に良いと聞かすが、地方は参っている。	
□	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・旅行需要の増加傾向は継続している。国内旅行は比較的高単価な旅行の売れ筋が好調である。ただし、バス旅行は低迷傾向にある。	
□	通信会社（社員）	販売量の動き	・特に強調するような材料はない。良くも悪くも例年並みであるが、大手他社の新サービスの動向によっては、乗換えでの解約が増えていく可能性もある。	
□	遊園地（職員）	来客数の動き	・大型スケートリンクの営業や富士山の日のイベント等、多くの催事によってにぎわっていたが、降雨、降雪等もあり、来客数は余り伸びなかった。	
□	ゴルフ場（経営者）	それ以外	・冬季クローズ中のため、現状の景気は判断できない。	
▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・来客数や業務発生等の電話は少ない。客は冬物処分に飛びつくわけでもなく、新生活商戦にも興味はない様子である。消費者の消費や購買意欲が全くみえず、静かな状況である。	
▲	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・物価高で単価は上がっているものの、一時的なものであり、今後は悪くなる。	
▲	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数は増えているが、客単価が低い。余計な物は買わないという思考がみられる。今までは特に、連休前等は売上が増えていたのだが、今月の連休は平日並みである。	
▲	スナック（経営者）	来客数の動き	・年が明けてから、フリー客の動きが悪い。	
▲	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・前年秋以降、例年の85%程度の売上で推移していたが、今月は77%程度まで落ちている。3連休が2回あり、両方とも大混雑だったが、それ以外は、週末とは思えないほど閑散としており、2回の3連休に吸い寄せられてしまったのかもしれない。春節やインバウンドの動きもほとんどみられず、平日は連日閑散としている。	
▲	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・能登半島地震の影響をはっきりとはみられないものの、遠方からの宿泊の動きは非常に悪い。大きな被害がある地域ではないが、積極的な利用客は少ない。また、北陸応援割が発表になったことで、詳細が分かるまでは予約しない客もいるため、今月やこの先の動きも、鈍い状況が続く。	
▲	ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・3か月前と比べると客の動きが悪く、予約状況も良くない。	
×	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・1月の能登半島地震の影響により、例年2月に開催される大型新年会が3件ほどキャンセルとなった。また、2月に恒例で開催されていた政治家のパーティーも、政治資金問題を理由にキャンセルとなり、外部環境の影響がかなり大きかった。	
企業	◎	*	*	*

動向 関連 (甲信越)	○	窯業・土石製品 製造業（経営 者）	取引先の様子	・特注商品の受注があり、ここしばらくは多忙となる。
	○	電気機械器具製 造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・受注量が増加しているものの、部品の遅延が目立ち、納期 どおりに生産できるか、不安定要素はたくさんある。
	□	食料品製造業 （営業統括）	受注量や販売量 の動き	・消費者の購買意欲が減退しており、工場見学者の購入金額 は減少している。
	□	電気機械器具製 造業（従業員）	受注量や販売量 の動き	・特に変化はない。
	□	その他製造業 〔宝石・貴金 属〕（経営者）	受注量や販売量 の動き	・小売店を回っているが、1月が不振だったためか仕入れを 控える取引先が多い。地金の高騰から、使わなくなったジュ エリーを処分したいといった話は多い。
	□	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・季節要因にもよるが、受注量が少ない。
	□	金融業（調査担 当）	取引先の様子	・製造業では半導体需要の回復の動きがまだ弱い。非製造業 では物価上昇分の販売価格転嫁は進んでいるものの、消費者 のマインド改善にはつながっていない。
	□	金融業（経営企 画担当）	取引先の様子	・企業業績を全体で俯瞰すると、一部良好な状況にあるもの の、物価上昇の影響で実質賃金は下がり、消費が低迷してい る。よって、変わらない。
	▲	*	*	*
	×	食料品製造業 （製造担当）	競争相手の様子	・また1軒、大手の製造メーカーが店を閉める。価格を上げ ると取引先から止められる可能性もあるが、上げなければ自 滅してしまう。非常に厳しい環境になっている。
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	*	*	*
	□	人材派遣会社 （営業担当）	雇用形態の様子	・マスコミが騒いでいるだけで、何も変わらない状況が続 く。
	□	求人情報製作会 社（総務担当）	周辺企業の様子	・景気が良いという取引先がない。また、周辺の製造業では 売上が低迷していると聞いている。
	□	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・ホテル関係ではインバウンド需要や大人数での宴会、会議 の需要回復で、コロナ禍で減少した従業員補充のための求人 増加がみられるが、利用状況はまだ新型コロナウイルス感染 症発生前の7～8割程度とのことである。そのほか、好調な 製造業等への派遣求人の増加がみられるものの、景気に波及 する要因は余りない。
	□	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・12月までは前月と比較して、新規の求人、求職共に減少傾 向にあったが、1月はいずれも前月より増加している。
	□	職業安定所（職 員）	周辺企業の様子	・原材料高や人手不足の傾向に変化がなく、賃上げ気運も十 分ではない状況から、景気が上向き、下向きといった判断に 至らない。
	▲	—	—	—
×	—	—	—	